

軽米町商工会
令和5年度経営発達支援事業 評価シート

《評価基準》 A: 目標を達成することができた(100%以上)
B: 目標を概ね達成することができた(80%～99%)
C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30%～79%)
D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)

I. 経営発達支援事業の内容

事業	項目	令和5年度		業績	令和5年度	
		目標	実績		事務局	委員会
1. 地域の経済動向調査に関すること	①地域の経済動向分析の公表回数(国が提供するビックデータの活用)	1回	1回	地域経済分析システム(RESAS)を活用し、地域経済動向の分析を行うとともに本会HPで公表し広く周知した。	A	A
	②景気動向分析の公表回数(上部団体等が提供する統計調査情報の活用)	1回	1回	岩手県商工会連合会が四半期ごとに行う中小企業景況調査報告書をHPで公表した。	A	A
4. 需要動向調査に関すること	①物販及び物産展等における消費者ニーズ調査対象事業者数	5者	5者	かるまいブランドinいわて銀河プラザ 5者1回	A	A
	②地域密着型事業者の消費者ニーズ調査対象事業者数	2者	3者	新商品開発に係るニーズ調査 1者 計画策定支援の一環として行うニーズ調査分析 2者	A	A
5. 経営状況の分析に関すること	経営分析対象事業者数	40者	37者	計画策定支援における分析や景況調査実施時等において経営分析した。	B	B
6. 事業計画策定支援に関すること	①事業計画策定個別相談会	3回	3回	専門家や広域経営指導員、事業引継支援センター等と連携し事業計画策定個別指導を実施した。	A	A
	事業計画策定事業者数	20者	28者	計画策定支援 21件 重複1者 補助金申請支援 4件 資金調達支援 4件		
	②DX推進セミナーまたは個別相談会	1回	6回	SNS活用による販路開拓支援事業個別支援 1者3回 SNS活用セミナー～初級編～ 2者1回 最新AI技術の活用法セミナー 2者1回 SNS動画活用セミナー 1者1回	A	A
7. 事業計画策定後の実施支援に関すること	①事業計画フォローアップ対象事業者数	20者	34者		A	A
	事業計画フォローアップ頻度(延べ回数)	110回	98回	計画策定支援 34回 補助金申請支援 64回	B	B
	売上増加事業者もしくは営業利益率1%以上増加事業者数	6者	7者		A	A
8. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	①商談会・展示会等出展事業者数	10者	12者	かるまいブランドinいわて銀河プラザ 3者 本会主催小規模型商談会 6者 いわて食の商談会in仙台 3者	A	A
	成約件数／者	1件	1件	ブランド出展成約件数1件／3者 小規模商談会成約件数5件／6者(他に要継続支援2件) いわて食の商談会in仙台成約件数6件／3社(見込含む)	A	A
	②地域密着型事業者の需要開拓支援事業者数	1者	2者	卸・小売等複数事業を営む事業者に対し、部門間連携による売上拡大ため需要開拓支援を実施。 管内に商圏を持つ製造業者に対し、商品視認性向上のための販促物制作支援を実施。	A	A
	新規売上／者	8万円	4万円	実施者へ聞き取り	C	C
	③ITツール導入支援事業者	1者	2者	SNS導入支援 1者 業界特有ITツール導入支援 1者	A	A
	③ITツール導入支援件数／者	1件	2者	同上	A	A

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援能力向上のための取組

事業	項目	令和5年度		業績	令和5年度	
		目標	実績		事務局	委員会
9. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること	①軽米町商工会経営発達支援推進会議の開催	—	—	令和5年度は事業年度内2回会議を開催した。	—	A
	②事務局会議	—	—	週礼にて進捗状況等を共有している。	—	A
10. 経営指導員等の資質向上に関すること	①外部講習会等の積極的活用による職員の資質向上(OFF-JT)	—	—	岩手県商工会連合会等が開催する研修会専門コースに参加し、専門的知識の習得に励んでいる。	—	A
	②実践による職員の資質向上(OJT)	—	—	広域経営指導員や専門家等と共に支援にあたり、ノウハウの習得に努め支援能力向上を図った。	—	A
	③DX化推進に向けた展示会参加による先進技術情報の収集	—	—	想定した展示会等への参加は実現できていない。	—	C